

令和7年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少と社会保障関係費の増大という構造的課題に加え、公共施設の老朽化対策やDXの推進、さらには物価高騰への対応といった多岐にわたる行政需要が重なり、依然として厳しい状況にある。

このような状況の中、本市においては、国からの交付金などを活用しながら、エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策を実施するとともに、第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の最終年度として計画に掲げた事業の着実な推進を図り、「活力ある暮らしやすいまち」を形成するため様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計32,952,154千円、国民健康保険特別会計7,274,525千円、介護保険特別会計6,797,731千円、後期高齢者医療特別会計1,326,695千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列举すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア シティプロモーション事業

地域活性化起業人制度を活用した広報専門官を登用し、シティプロモーションのためのショートドラマを制作した。

イ 放課後児童クラブ施設整備事業

第二小学校区放課後児童クラブ施設整備工事を実施した。

ウ 保育園・幼稚園施設整備事業

市内公立保育園（5園）及び公立こども園（3園）に保育ICTシステムを導入した。

エ まちなか商業活性化事業

中央通り線においてチャレンジショップ整備工事を実施した。

オ 公園競技施設管理運営

ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事及びLED照明設備改修工事を実施した。

カ 中学校施設整備事業

市内全中学校の屋内運動場空調設備設置工事設計業務委託及び第二中学校、第三中学校、多々良中学校の屋内運動場照明ＬＥＤ化工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する地域活性化事業に対する支援を行った。

イ ほ場整備事業

ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、野辺地区において農地区画整理工事を実施し、大島地区において調査計画業務を実施した。

ウ デジタル地域通貨発行事業

キャッシュレス社会に対応したデジタル地域通貨を運用し、地域経済の活性化を図るとともに、プレミアムキャンペーンを実施し市内の消費促進及び事業者支援を行った。

エ 産業団地造成事業

産業団地の造成を進めるため、調査・設計及び付帯工事を実施した。

オ 中央通り線道路改良事業

平成２８年度から令和１４年度までの１７か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地３６７．２４㎡の取得と７件の補償を実施した。

カ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和６１年度から令和１５年度までの４８か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路築造工事１２９．６ｍ等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和９年度までの３９か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事２５．６ｍ、２戸５棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成１１年度から令和１４年度までの３４か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事２６．８ｍ、３戸５棟の建物移転等を実施した。